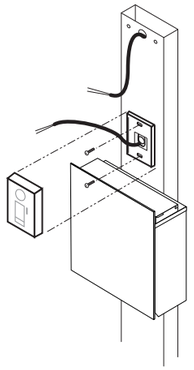
インターホンの取り付け

（イラストは表札灯付の場合です）

※インターホンは現場手配品です。
※インターホン付属の施工説明書、取扱説明書もご確認ください。

1、門柱付属のφ4×16トラスタッピンネジにて
　インターホンのベースを取付けます。

2、インターホン配線を結線し、インターホン本体を
　取付けます。



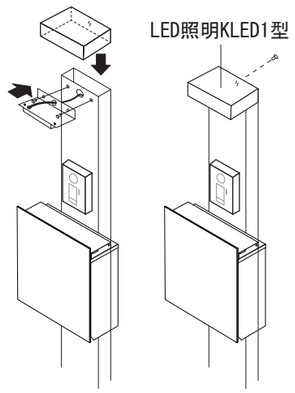
（表札灯付の場合）

表札灯の取り付け

LED照明KLED1型等

※表札灯付属の取扱説明書に準じて取り付けてください。

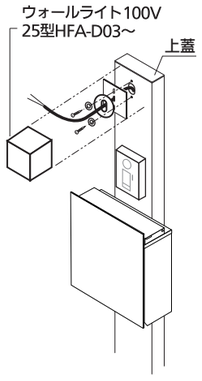
1、下穴に付属のビスで本体を固定します。
　電源穴に配線を通し、門柱内部で結線してください。
2、カバーをかぶせ取付穴位置をマーキングし、取付穴
　をあけます。
3、加工した下穴に付属のビスでカバーを固定します。



ウォールライト100V　25型HFA-D03～の場合

※表札灯付属の取扱説明書に準じて取り付けてください。

1、照明用配線をベースパッキン中心の切り込み穴を通した後に、
　取付金具の穴に通します。
2、門柱付属の表札灯取付用のトラスタッピングビスとナイロン
　ワッシャーにて取付金具を門柱に取付けます。
　（表札灯に付属している木ビスとブッシュは使用しないでください）
3、表札灯に結線し、表札灯本体を取付けます。



～施工後にご確認ください～

・家側との結線を行い照明、インターホンが正常に動作するかどうかご確認ください。（表札灯付の場合）
・ポストの操作が正常に行えるかどうかご確認ください。

お問い合わせ・ご意見は下記へご連絡ください。

MarusanTakagi
銘板・表札の総合メーカー
株式会社 丸三タカギ
〒580-0041 大阪府松原市三宅東4丁目1695-1
TEL:072-338-6620（代表）　FAX:072-338-2800

250321

機能門柱　取付・取扱説明書

**商品施工に関しては、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき
正しい施工とご使用をお願いいたします。**

■ 事前注意事項
・商品の施工に関しましては必ず本書に従ってください。本書に記載されていないような商品への加工・改造は行わないでください。
・本製品は軽量な中空アルミ材を使用しているため、1～2名の人力で据付することも可能です。
・据付前に門柱埋め込み用の基礎穴を掘り、そこに割栗石を敷き詰めて突き固めてください。
・配線用配管位置をご確認の上、無理のない施工をお願いします。
・本製品には、インターホン は含まれておりません。別途ご購入お願い致します。
・電装品梱包を屋外に放置しないでください。

■ 設置の取扱い注意
・商品の設置は水道管やガス管などの地下埋設物に影響を及ぼさない位置に行ってください。
・軟弱地盤でのコンクリート基礎埋め込み深さ、周囲巾は充分に取ってください。
・商品の埋設に使用するコンクリートやモルタルには海砂を使用しないでください。アルミ材の腐食原因となる恐れがあります。また、凝結促進剤や減水促進剤、凍結防止剤などの使用も控えてください。
・コンクリートを注いでから門柱を差し込むと、アンカーがうまく機能しない可能性があります。コンクリートは門柱を基礎穴に差し込んでから注いでください。
・付属部品の取り付けの際、締めすぎにご注意ください。また、電動ドライバーをご使用の際には、低速回転で締め付けるか手締めで行ってください。
　取り付け完了後は、ネジ・ボルトに緩みや傾きがないよう再度ご確認ください。
・施工終了後は汚れ・傷が無いこと、がたつきなど使用上危険な箇所が無いか確認してください。また、商品に対して、乗る、寄りかかるなどの行動や物を載せる、掛けるなどの行為をしないでください。
・電気配線や結線工事は、電気有資格者にご依頼ください。工事完了後は必ず通電し、正常に動作することを確認してください。

■ご理解
・本製品は改良の為、予告なしに仕様等を変更することがありますのでご了承ください。

■お手入れ方法
　安全に美しくご使用いただくために、定期的なメンテナンスをお願いいたします。
・長年ご使用いただくとネジ・ボルト類がゆるむことがありますので、締め直しをお願いいたします。
・汚れた場合は、ほこりや土を取り除き、柔らかい布やスポンジで水洗いした後に乾拭きしてください。
・落ちにくい汚れの場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、柔らかい布やスポンジで汚れを落としてください。
　その後に洗剤が残らないよう十分に水で洗い流して乾拭きしてください。

・本品はアルミ等の金属製ですが塩害（潮風に含まれる塩分による被害）・酸性雨・排気ガス・新築完成後の洗浄剤その他の要因によりまれにもらい錆が発生する場合があります。特に台風の後は内陸部でも塩害によるもらい錆が発生しやすくなりますので、天候回復次第、速やかにお拭き取りください。

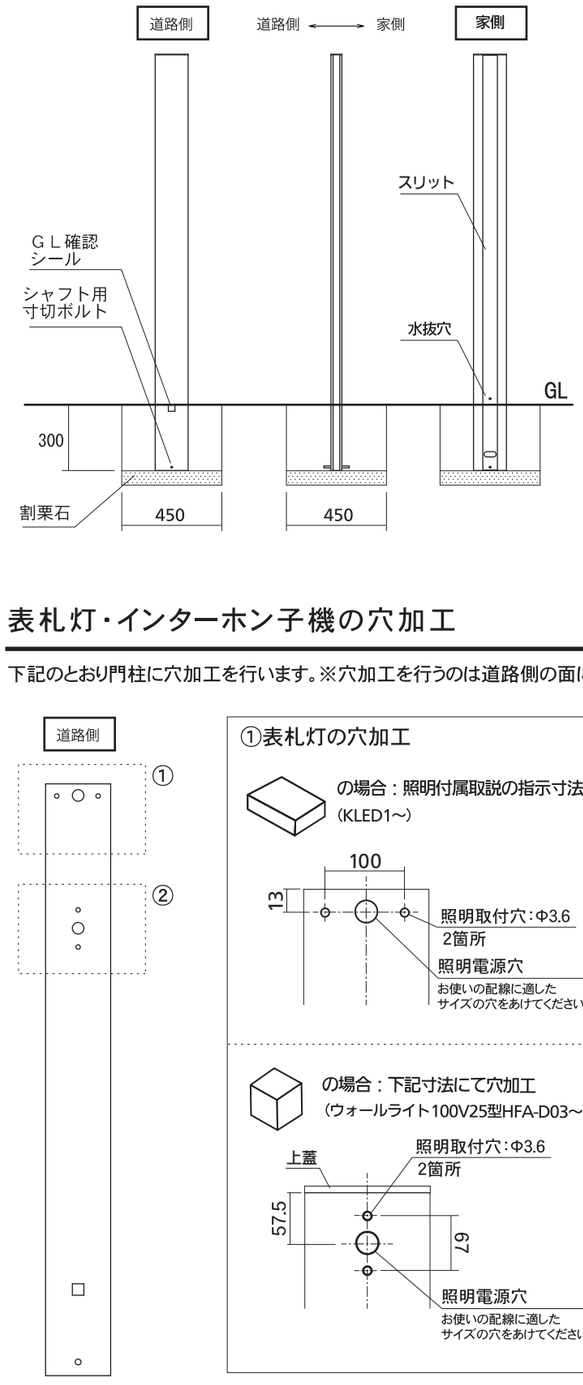
施工の手順

施工を始める前に
～電気配線工事について～

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 表札灯付の場合 表札灯にはLED100V照明が内蔵されています。照明用電線は、VWFφ1.6 または φ2.0 の3芯単線（アース線）を使用ください。
- 表札灯付の場合 照明用電線とインターホン配線は電線管（屋外用可とう電線管）を使用し隔離してください。

基礎の設置

門柱設置前に基礎を完成させます。
（スリットが無い面を道路側に向け施工します）



※：表札灯なしの場合は使用しません

【門柱付属品】
- 本書（取付・取扱説明書）：1枚
- 表札灯取付用Φ4×16 SUSトラスタッピングビス：2本 ※
- 表札灯取付用M4ナイロンワッシャー：2本 ※
- インターホン取付用Φ4×16 SUSトラスタッピングビス：2本
- ポスト取付用M4×25 SUSトラス小ネジ：4個
- ポスト取付用M4ターンナット：4個
- ポスト施工型紙：1枚
- シャフト用寸切SUSボルトM8×100：1本

◆ 門柱、ポストはそれぞれ別梱包です。

【ポスト付属品】
- ポスト用取扱説明書：１枚
- ポスト取付用ゴムパッキン：4本

表札灯・インターホン子機の穴加工

※表札灯なしの場合は表札灯の穴加工不要

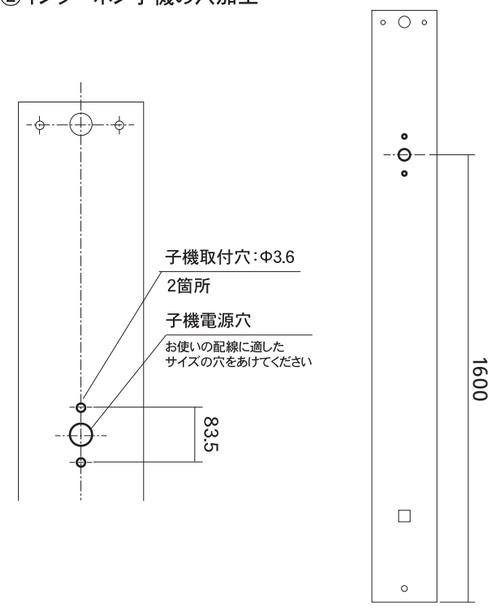
下記のとおり門柱に穴加工を行います。※穴加工を行うのは道路側の面になります（上記「基礎の設置」参照）

①表札灯の穴加工

の場合：照明付属取説の指示寸法にて
（KLED1～）

の場合：下記寸法にて穴加工
（ウォールライト100V25型HFA-D03～）

②インターホン子機の穴加工



門柱の設置

（イラストは表札灯付の場合です）

1、支柱の下部にシャフトを挿入してから門柱を建てて支え棒等を取り付け、しっかりと自立させてください。

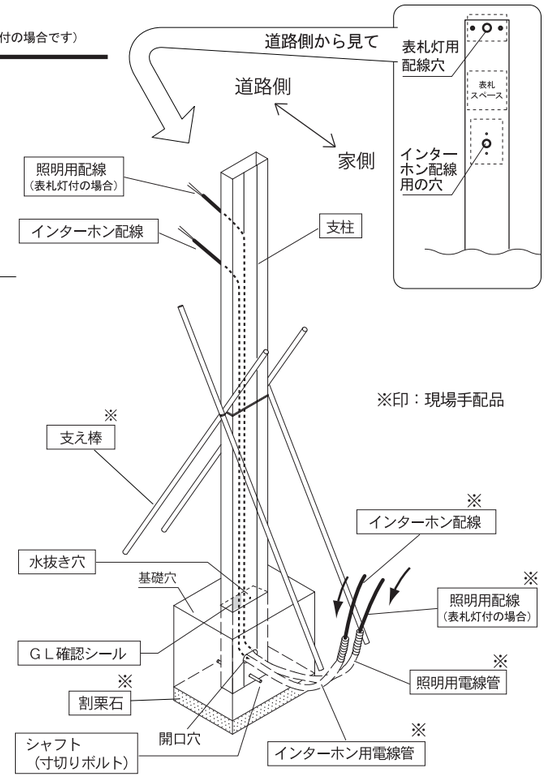
⚠注意 支え棒はコンクリートが完全に固まるまで外さないでください。

2、インターホン用電線管を支柱下部の開口穴から挿入しインターホン配線を上部まで通線して道路側へ引出してください。

（表札灯付の場合）

3、照明用電線管と照明用配線を支柱下部の開口穴から挿入して通線し、表札灯用配線穴から道路側へ引出してください。
（コンクリート打ち終了後しっかり固まってから表札灯の取扱説明書に準じ表札灯の取付けと結線をしてください）

4、寸法と門柱の水平・垂直を確認のうえ、設置位置を確定し、コンクリート打ちをしてください。その際各電線管の先端は、家側との接続まで地表に仮出ししてください。

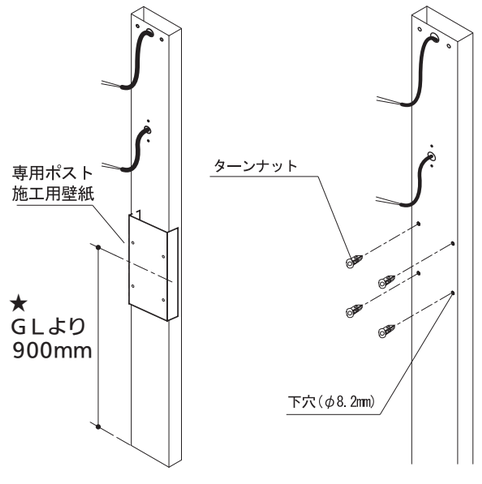


ポストの取り付け

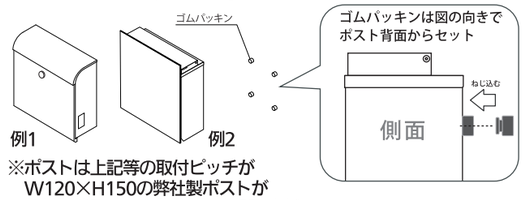
※ポストは別梱包です。
※ポスト付属の取扱説明書もご確認ください。

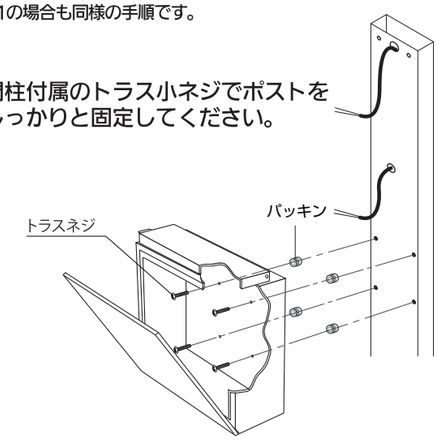
（イラストは表札灯付の場合です）

1、門柱付属の「専用ポスト施工用型紙」を折り線に沿って折ったうえで、地面（GL）より900mmの位置でセンターラインにくるように門柱にあてがい、ビス穴位置に印を付けてください。
ビス穴位置にてドリルで下穴をあけ（下穴径：φ8.2mm）
下穴に門柱付属のターンナットを挿し込んでください。



2、ポスト付属のゴムパッキンをポスト背面の取付穴にセットしてください。



※ポストは上記等の取付ピッチがW120×H150の弊社製ポストが取付可能です。以降説明は例2ですが例1の場合も同様の手順です。

3、門柱付属のトラス小ネジでポストをしっかりと固定してください。